

PAT-NO: JP358082365A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58082365 A

TITLE: TRANSACTION PROCESSOR

PUBN-DATE: May 17, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MORI, MASATO

HOSOI, NORITAKA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

OMRON TATEISI ELECTRONICS CO

N/A

APPL-NO: JP56181548

APPL-DATE: November 11, 1981

INT-CL (IPC): G06F015/30, G07D009/00

US-CL-CURRENT: 705/36, 705/42

ABSTRACT:

PURPOSE: To facilitate the operation of a transaction device, by voicing the guidance of the operation of the transaction device to a customer in a language specified with a language specifying code read out of a recording medium.

CONSTITUTION: A customer performs successive operation by following a specified procedure, and then a transaction processor performs prescribed transactions, e.g. depositing, cash withdrawal, etc., and other transactions. For this purpose, a language specifying code is recorded previously on a recording medium to specify a desired language, and said language specifying code is read by a card reader 44. A voice parameter storage device 62 stores data on a guide voice document for guiding steps of respective operations of the transaction devices in plural languages, and guide voice information in the

language specified by said language specifying code is read out of the storage device 62 to voice the operation procedure to the customer through a voice output device. Similarly, a display 2 displays the operation procedure in the specified language.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—82365

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
G 06 F 15/30  
G 07 D 9/00

識別記号

庁内整理番号  
7737—5B  
7536—3E

⑭ 公開 昭和58年(1983)5月17日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 12 頁)

⑮ 取引処理装置

⑯ 特 願 昭56—181548

⑰ 出 願 昭56(1981)11月11日

⑱ 発 明 者 森正人

京都市右京区花園土堂町10番地  
立石電機株式会社内

⑲ 発 明 者 細井則孝

京都市右京区花園土堂町10番地  
立石電機株式会社内

⑳ 出 願 人 立石電機株式会社

京都市右京区花園土堂町10番地

㉑ 代 理 人 弁理士 岸本瑛之助 外 4 名

明 細 書

1. 発明の名称

取引処理装置

2. 特許請求の範囲

(1) 記録媒体が使用され、顧客が一連の複数ス

テップの操作を行なうことにより所定の取引

を実行する取引処理装置において、

記録媒体には、所望の言語を指定する言語  
指定コードがあらかじめ記録されており、

記録媒体の読取手段、

顧客の操作を案内する案内音声文章を出力  
する音声出力手段、

各ステップの操作を案内する案内音声文章  
に関するデータを、複数の言語であらかじめ

記憶する記憶手段、および

記録媒体から読取られた言語指定コードに

よって指定された言語による案内音声文章を、

顧客による操作の直前にかつ各操作ステップ

ごとに出力させる制御手段、からなる取引処

理装置。

(2) 顧客の操作を案内する案内表示画像を表示

する電子的視覚表示装置を備えており、この

案内表示画像は、複数の言語のうち少なくとも

も1つを用いて表わされる、特許請求の範囲

第(1)項記載の取引処理装置。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、顧客が操作する入力装置を備え、

この入力装置を用いて顧客が一定の手順にした

がつて複数ステップからなる一連の操作をする

ことにより所定の取引、たとえば預金、現金引

出し、残高照会、通帳記入、振込および両替な

どの銀行取引、その他の取引を行なう、取引処

理装置に関する。

取引処理装置は、顧客による操作を案内するために視覚的表示装置たとえば陰極線管表示装置（以下O R Tという）を備え、このO R Tに顧客に対する指示を表示している。顧客に対する案内指示は一般に文<sup>章</sup>全<sup>て</sup>の表示によつて行なわれるから、顧客がこの文章を読めない場合とくに使用する言語が異なるために表示された文章を理解できない場合には、取引を行なうことはできない。

この発明は、異なる言語を用いる顧客、または文字の読めない顧客であつても取引を行なうことのできる汎用性のある取引処理装置を提供することを目的とする。

以下、図面を参照して、この発明を銀行取引装置に適用した実施例について詳述する。

(3)

O R T (2) の右側手前の位置には、顧客固有の秘密番号、支払請求金額、日付などを入力するために用いられるテンキー(3)が設けられている。さらに操作パネルには、紙幣を挿入するための紙幣投入口(4)および紙幣を返却するための紙幣返却口(5)がある。紙幣返却口(5)からは、預金の取引において預金すべき紙幣を挿入後取引が終了する前に取引を取消した場合などに、挿入された紙幣が返却される。

銀行取引装置(1)の垂直な操作パネルには、その右側に、銀行取引の資格のある顧客の個人コードなどのデータが磁気記録された磁気カードを挿入するための磁気カード挿入口(6)、顧客の操作を案内する音声を出力するスピーカ(7)、ならびに紙幣および取引データが印字された明細票を放出する現金払出口(8)が配置され、左がわ

第1図は、銀行取引装置の外観を示している。

この銀行取引装置(1)では、預金、現金引出、残高照会、通帳記入、振込および現金両替の取引が行なわれる。銀行取引装置(1)の前方に突出した水平な顧客操作パネルには、案内表示文章と案内表示図形との組合せにより構成される操作案内、機能ボタン(11)~(14)の機能表示文言および明示枠、ならびに支払請求金額その他の入力データまたは情報の表示に用いられるO R T (2)が配置されている。このO R T (2)の表示面上方は保護ガラスによつて覆われている。機能ボタン(11)~(14)および(17)~(19)は、O R T (2)の左右両側であつて隣接する箇所に縦に並べて配列されている。これらの機能ボタン(11)~(14)は、取引種類の選択、取消、確認、金額の単位、紙幣の種類の選択などを入力するために用いられる。また、

(4)

には通帳を挿入するための通帳挿入口(9)が配置されている。さらに、通帳挿入口(9)の上方には、銀行取引装置(1)が取引可能な状態にあることを示す取扱中表示器(10)および可能な取引種類を示す取引モード表示器(12)が設けられている。

第2図は、銀行取引装置(1)の内部構造を概略的に示している。銀行取引装置(1)はその入出力機器として、現金支払および現金両替の取引において所定金額の紙幣を計数して搬送し、機能ボタンからの確認信号にもとづいてその紙幣を払出口(8)に送出する紙幣放出機(11)、紙幣投入口(4)に挿入された紙幣の真偽と種類を判別するビル・チエツカ(12)、各取引処理ごとにその取引種類、支払金額、預金金額などの取引データを銀行の控としてジャーナルに記録するとともに、顧客に明細票を発行する伝票発行機(13)、カード

挿入口(6)の内側に配置され、カードに磁気記録されたデータを読み取る磁気カード・リーダー(44)、通帳に取引年月日、預金金額、支払金額、残高その他のデータを印字する記帳機(45)、機能ボタン(41)～(43)およびテンキー(3)を含むキー入力装置(46)、O R T (2)を含む表示装置(47)、ならびにスピーカ(7)を含む音声案内装置(48)を備えている。これらの入出力機器は中央処理装置(O P U という)図によつて制御され、各種の取引が実行される。O P U 図は、そのプログラムをストアしたR O M 図および各種の取引データをストアするR A M 図を備えている。好ましくは、各入出力機器にそれらをそれぞれ制御するO P U を設け、これらのO P U をスレーブO P U とし、O P U 図をマスタ・O P U として、マスタ・スレーブ・システムによつて制御するようにする。

(7)

されている。この実施例においては、操作案内のために使用される言語には英語、中国語、独語および朝鮮語(ハングル)の4ヶ国語がある。言語指定コードは、これらの4ヶ国語のうち顧客の希望するものを指定するものであり、カード作成時にカードに磁気記録される。

顧客の操作案内のためにO R T (2)に表示される画像の例が第9図から第14図に示されている。画像は、案内表示文章、案内表示図形、機能ボタンの機能表示文言、ボタン明示枠などの組合せから構成されている。案内表示文章とは顧客による取引操作を案内する文章であつて次のようなものがある。

PLEASE INSERT YOUR CARD

請 將 取 款 卡 插 入

KARTE EINSTECKEN

(9)

コントロール・センタ(図示略)は、顧客別情報ファイルを持っており、このファイルに顧客の個人コード、銀行取引に関するデータなどがストアされている。O P U 図は、取引処理データを伝送制御回路図を介してセンタに伝送し、センタからは、取引の可否、取引によつて更新された銀行取引に関するデータが回路図を介してO P U 図に伝送される。

第3図は、磁気カードの磁気ストライプに記録されているデータのフォーマットを示している。磁気カードには、その顧客の口座番号、銀行番号、カードの使用有効期限、スピーカ(7)から出力される操作案内音声の言語を指定するコード、カードが最後に使用された(前回の取引の)日時、その顧客に対する支払限度額、およびその顧客固有の暗証番号などのデータが記録

(8)

카드를 넣으십시오

(カードを挿入して下さい)

(文章1、第9図)

PRESS ONE BUTTON FOR DESIRED SERVICE

(ご用件のボタンを1つ押して下さい)

(文章2、第10図)

この他に第11図から第14図に示されている案内表示文章をそれぞれ文章3～6とする。案内表示文章は、取引の開始にあたって表示される第9図の文章のみが4ヶ国語で表わされ、他の表示においては英語のみで表わされている。このようにすることにより、案内文章・図形メモリの容量を小さくすることができる。案内表示図形とは、第9図に示すカードをカード挿入口(6)に挿入している図形のように、案内表示文言に対応して顧客による取引操作を案内する図

形である。機能表示文言とは、機能ボタンの機能を示すものであつて、各機能ボタンに隣接する箇所に表示される。たとえば顧客が取引種類を選択する場合には、ボタン(11)～(13)(17)～(19)に対応して第10図に示すように、DEPOSITING(預金)、BALANCE REFERENCE(残高照会)、TRANSFER(振込)、WITHDRAWAL(引出し)、ENTRY(通帳記入)およびEXCHANGE(両替)の各単語が表示される。この他に機能ボタンは、支払請求金額を入力する場合には金額の単位を入力するために、また確認や取消を入力するためにも用いられるから、機能表示文言には上記の各機能を表わす文言も含まれる。明示枠とは、機能表示文言を囲む枠(第10図)であつて、機能表示文言に対応する機能ボタンを明示する。機能表示文言としては上述の例では英語のみが示

(11)

点の集合として表示される。キャラクタ・ゼネレータ54は、キャラクタを示すコードからそのキャラクタを表わす点の集合を発生させるものである。案内表示図形および明示枠についても同じように、これらの図形を分解すると、第10図に示すように、図形を構成する多種類の部分(a)(これを便宜的に画素という)の組合せで構成されている。そして、画素(a)もまたCRT(2)の画面上では光る点の集合として表わされる。画素を表わす点の集合もまたキャラクタ・ゼネレータ54から発生する。

第6図に表示文章・図形コード・メモリ52の内容の一部が示されている。このメモリ52には、第9図～第14図に示すような、取引においてCRT(2)に表示される画像のデータが記憶されている。案内表示文章はキャラクタの集合で構

されているが、もちろん4ヶ国語で表示するようにしてもよい。

第4図は、表示装置10の構成を概略的に示している。表示装置10は、主制御装置51、表示文章・図形コード・メモリ52、CRT制御回路53、キャラクタ・ゼネレータ54、並列一直列変換回路55およびCRT(2)から構成されている。主制御装置51は、スレーブCPU、そのプログラムをストアしたROMおよび各種データ記憶用のRAMからなる。表示文章・図形コード・メモリ52は、上述したようなあらかじめ設定された表示文章および図形を表わすコード・データをストアするものである。案内表示文章および機能表示文言は、これらを分解すると文字または数字などのキャラクタの組合せで構成されている。キャラクタは、CRT(2)の画面上では光る

(12)

成されるから、メモリ52にはこれらの各文章のそれぞれについて、文章を構成する先頭のキャラクタのCRT(2)の画面上の位置と、文章を構成するキャラクタのコードが文章を構成する順序に並べられてストアされている。案内表示図形についても同じように、これらの各図形のそれぞれについて、図形のCRT(2)の画面上の位置と、図形を構成する画素のコードが一定の順序で並べられてストアされている。機能表示文言および明示枠については図示されていないが、これらを構成するキャラクタおよび画素のコードも同じようにメモリ52内にストアされている。各文章および図形のコード・データがストアされているエリアのアドレス、たとえば先頭アドレスは、その文章または図形を指定する案内表示文章・図形指定コードから、プログラ

ムによつてまたはRAM内のテーブルによつて決定される。第6図においては、これらの指定コードがD1、D2・・・、D32などで表わされており、これらをDnで代表して表わす。

OPU(60)が、1または複数の指定コードDnによつて表示すべき画像を表示装置(61)に指令すると、主制御装置(61)によつてこの指定コードDnが解説され表示文章・図形コード・メモリ(62)から指定されたコード・データが読出される。この読出されたコード・データによつて、キャラクター・ゼネレータ(64)にストアされている点の集合の記憶場所がアドレスされる。キャラクター・ゼネレータ(64)からはキャラクターまたは画素を表わす点の信号が発生し、この信号が変換回路(65)で直列の映像信号に変換され、CRT(2)に送られる。CRT制御回路(63)によつてキャラクター

03

(文章4)

請取回取款卡

(文章5)

請收取鈔票及取款明細表

(文章6)

他の文語、すなわち独語および朝鮮語についても同様に、文章2～6をこれらの言語に翻訳した文章を発音したものが案内音声文章となる。

第5図は、音声案内装置(40)の構成を概略的に示している。音声案内装置(40)は、主制御装置(61)、音声パラメータ・メモリ(62)、音声制御回路(63)、音声合成回路(64)、デジタル・アナログ変換回路(65)およびスピーカ(7)から構成されている。主制御装置(61)は、スレーブOPU、そのプログラムをストアしたROMおよび各種データ記憶用のRAMから構成されている。音声パラメ

・ゼネレータ(64)からのデータの読出しが制御されるとともに、映像信号の水平および垂直走査が制御されるので、CRT(2)の画面上には、OPU(60)によつて指定された画像が表示される。

顧客の操作案内のためにスピーカ(7)から出力される音声は、上述の案内表示文章に対応しており、これを案内音声文章という。案内音声文章は上述の4ヶ国語によつてあらかじめ作成されている。英語の場合には、案内音声文章は、第10図から第14図に示される案内表示文章を発音したものである(文章2～6)。中国語の場合について例示すれば案内音声文章3～6は、次の文章を発音したものである。

請在鍵盤上按下暗碼

(文章3)

請按下取款金額

04

ータ・メモリ(62)は、上述したようなあらかじめ発音された案内音声文章のパラメータ・データをストアするものであり、たとえばフロッピー・ディスクからなる。アナログ音声信号をデジタル化し、かつ分析して、その分析データをメモリに記憶させておき、必要に応じてメモリから所望の音声分析データを読出し、音声合成回路を通してスピーカから音声を出力させることは既に知られている。音声分析データは、たとえばテープ・レコーダに録音されたアナログ音声信号をAD変換したのち、パーコール(PARCOR)理論または線形予測符号化(LPC)理論によつて分析して得られる。この音声分析データを音声パラメータという。

第7図に音声パラメータ・メモリ(62)の内容の一部が示されている。このメモリ(62)には、

上述した多数の案内音声文章のパラメータ・データが各言語についてそれぞれあらかじめストアされている。案内音声文章パラメータ・データがストアされているエリアのアドレスは、その文章を指定する案内音声指定コード  $S_n$ 、およびその文章の言語を指定するコード  $O_m$  ( $m=1\sim 4$ ) から、プログラムによつて、または RAM 内のテーブルによつて決定される。

カードが挿入されると、そこに記録されているデータがカード・リーダー40によつて読取られ、RAM 42内にストアされる。カード・データには言語指定コードが含まれている。音声案内を行なうべきステップにおいて、CPU 44は、カード・データ中の言語指定コード  $O_m$  とそのステップに応じた案内音声指定コード  $S_n$  とによつて、音声案内すべき文章を音声案内装置46に

09

09によつて選択せよという案内が表示されるとともに(ステップ(73))、カード・データ中の言語指定コード  $O_m$  によつて指定された言語で、同趣旨の案内音声文章がスピーカ(7)から出力される(ステップ(74))。たとえば、英語が指定されている場合には、「プレス ワンボタン フォア デザイナード サービス」という音声が出力される。案内音声文章は、同一文章を複数回続けて出力されることが好ましい。またこのステップにおいては、左側のボタンは奥の方から手前に向つて、預金、残高照会、振込である、というような各機能ボタンの説明を音声で行なうようにしてもよい。顧客が機能ボタン01~0307~09のうちのいずれかを押すと(ステップ(75))、選択された取引の処理に進む。

機能ボタン09が押されることによつて引出し

指令すると、主制御装置(61)によつてこれらの指定コード  $O_m$ 、 $S_n$  が解読され、音声パラメータ・メモリ(62)から指定されたパラメータ・データが読出される。このパラメータ・データは音声合成回路(64)に送られ、音声デジタル信号に合成され、変換回路(65)でアナログ信号に変換されたのちスピーカ(7)から出力される。

第8図は、取引処理手順の一例を示している。

ORT(2)には、第9図に示すような、カードをカード挿入口に挿入せよという案内が表示されているので(ステップ(71))、この案内表示にしたがつて顧客はカードを挿入口(6)に挿入する(ステップ(72))。挿入されたカードのデータがカード・リーダー40によつて読取られ、RAM 42にストアされる。続いてORT(2)には第10図に示すような、取引種類をボタン01~0307~

00

の取引が選択されたとすると、ORT(2)には第11図に示すような、テンキーによつて暗証番号をキー入力せよという旨の案内が表示されるとともに(ステップ(76))、同趣旨の案内音声文章がスピーカ(7)から出力される(ステップ(77))。顧客が暗証番号をキー入力すると(ステップ(78))、キー入力された暗証番号とカード・データ中の暗証番号とが比較され、一致すればORT(2)には第12図に示すような、テンキーによつて支払請求金額をキー入力せよという案内が表示されるとともに(ステップ(79))、同趣旨の案内音声文章がスピーカ(7)から出力される(ステップ(80))。両暗証番号が一致しない場合にはカードが返却されて取引が終了する。顧客がテンキー(3)によつて支払請求金額を入力すると(ステップ(81))、取引に必要なデータが整つたの



でセンタとの交信に移る(ステップ(82))。センタでは、取引処理装置(1)から伝送されたカード・データ中の口座番号にもとづいて顧客別情報ファイルが検索され、該当口座の有無、該当口座の残高が支払請求金額を超えているかどうかなどが検査される。そして、センタから取引処理装置(1)に支払の可否を含む電文が送信される。

取引処理装置(1)では、支払が許可されていれば、伝票発行機(3)によつてジャーナルおよび明細票への取引データの印字が行なわれる。この後、O R T (2)に第13図に示すような、カードを抜取れという旨の案内が表示され(ステップ(83))、同趣旨の案内音声文章がスピーカ(7)から出力され(ステップ(84))、カードが返却される。顧客が挿入口(6)からカードを抜取ると(

2 23

上記実施例においては、言語指定コードはカードに磁気記録されているが、通帳に貼付された磁気ストライプに磁気記録することもできる。また電子的視覚表示装置としてはO R T が示されているが、プラズマ・ディスプレイなど他の表示装置を用いることもできる。さらに、案内音声文章はそのパラメータ・データがメモリにストアされているが、案内音声<sup>音声</sup>文章のアナログ音声信号を磁気テープなどに録音しておき、これを再生することにより案内音声を出力するようにすることもできる。

電子的視覚表示装置は必ずしも必要ではなく、すべての操作案内を案内音声文章で行なうようにすることもできる。この場合には、取引処理装置(1)に、その前にまた顧客を検出する検出器を設けておき、顧客を検出したときに、取引の

ステップ(85))、O R T (2)の画像は、第14図に示すような、現金と明細票を取れという旨の案内に変わり(ステップ(86))、スピーカ(7)からは同趣旨の案内音声文章が出力され(ステップ(87))、支払現金および印字された明細票が払出口(8)に放出される。顧客が現金および明細票を受取ると(ステップ(88))、O R T (2)にはありがとうございましたという旨の取引終了案内が表示され(ステップ(89))、スピーカ(7)からは同趣旨の音声<sup>音声</sup>が出力される(ステップ(90))。

第8図においては引出しの取引の例のみが示されているが、他の取引たとえば預金、残高照会などにおいても、同じような手順によつて、メモリ(4)および(62)にあらかじめストアされている画像が表示され、および音声<sup>音声</sup>が出力され、顧客の取引操作が案内される。

2 24

開始を示す案内たとえばカードを挿入せよという意味の案内音声文章をスピーカから出力するようにすると好ましい。

以上詳細に説明したように、この発明では、カードや通帳などの記録媒体にあらかじめ顧客の希望する言語を指定する言語指定コードが記録されており、また取引処理装置のメモリには、顧客の操作を音声で案内する案内音声文章<sup>音声</sup>を複数の言語であらかじめ記憶されている。そして、記録媒体から読取られた言語指定コードによつて指定された言語で、案内音声文章がスピーカから出力される。このため、顧客は自分の得意な言語をカードや通帳に指定してあらかじめ記録しておけば、その言語で操作が案内されるので、他の言語を知らなくても、取引操作を実行することが可能となる。この発明は、使用する

言語が異なる人々が同じ取引処理装置を利用する  
 ような場所または地域において特に有効である。  
 また、音声で操作を案内しているから、文章が読めない人も取引処理装置を用いた取引が可能となる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、銀行取引装置の外観を示す斜視図、  
 第2図は、銀行取引装置の内部の回路構成を示すブロック図、第3図は磁気カードのフォーマットを示す図、第4図は表示装置を示すブロック図、第5図は音声案内装置を示すブロック図、第6図は、表示文章・図形コード・メモリの内容を示す図、第7図は音声パラメータ・メモリの内容を示す図、第8図は取引処理の手順を示すフロー・チャート、第9図から第14図は、O R Tが表示する画像の様々な例を示す図であ

る。

(1)・・・銀行取引装置、(2)・・・O R T、(3)・・・  
 O P U、(4)・・・カード・リーダー、(5) (61)・・・主  
 制御装置、(62)・・・表示文章・図形コード・メモ  
 リ、(62)・・・音声パラメータ・メモリ。

以 上

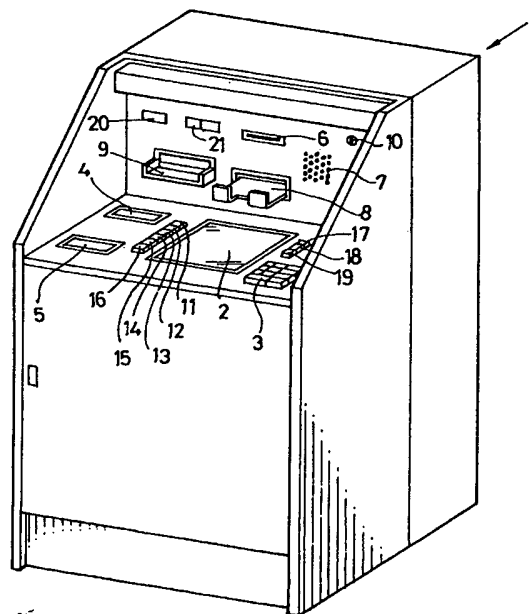
特許出願人 立石電機株式会社

代 理 人 岸 本 瑛 之 助

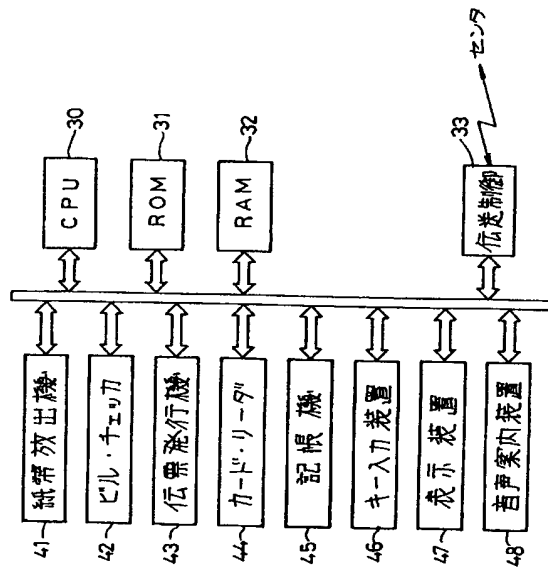
外 4 名



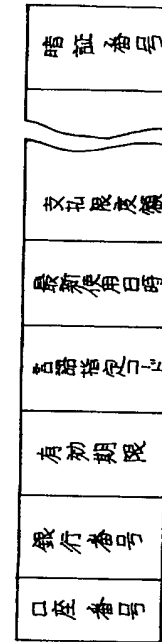
第1図



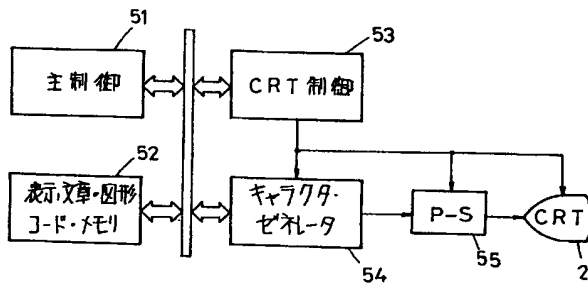
第2図



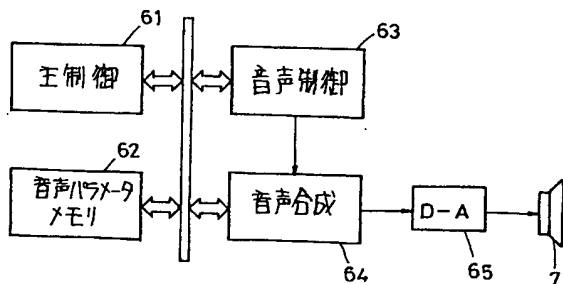
第3図



第4図



第5図



第6図

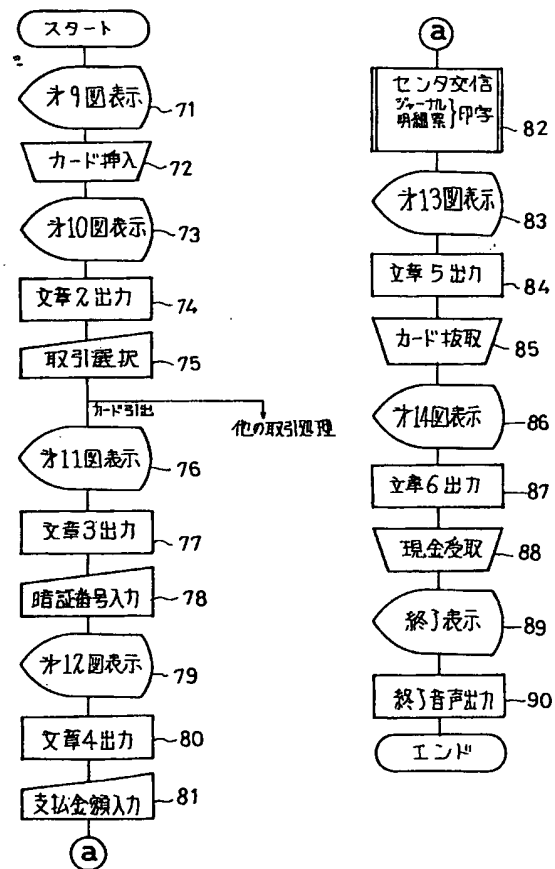
アドレス  
(案内表示文章、図形指定コード)

D1	画面上の表示すべき先頭位置 案内表示文章コード・データ 文章1 (英・中・独・韓)
D2	画面上の表示すべき先頭位置 案内表示文章コード・データ 文章2 (英)
D3	画面上の表示すべき先頭位置 案内表示文章コード・データ 文章3 (英)
D31	画面上の表示すべき先頭位置 案内表示図形コード・データ (図形1)
D32	画面上の表示すべき先頭位置 案内表示図形コード・データ (図形2)
52	

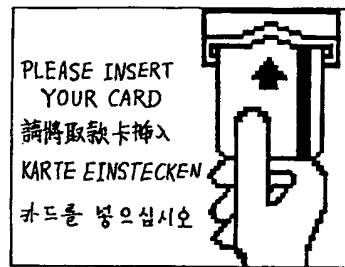
第7図

アドレス		言語指定コード			
		英語 01	中国語 02	独語 03	韓国語 04
案内音声指定コード	S2	案内音声文章ハフマ 文章2	案内音声文章ハフマ 文章2		
	S3	案内音声文章ハフマ 文章3			
	S4				
					62

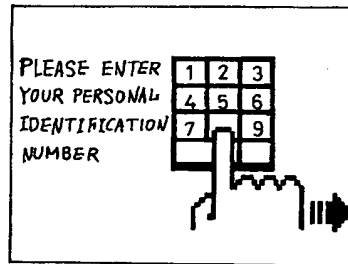
第8図



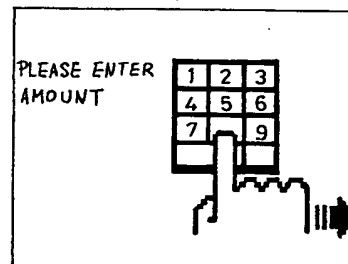
第9図



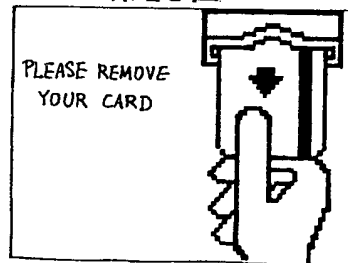
第11図



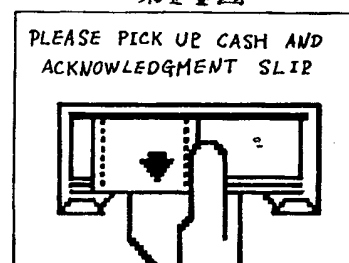
第12図



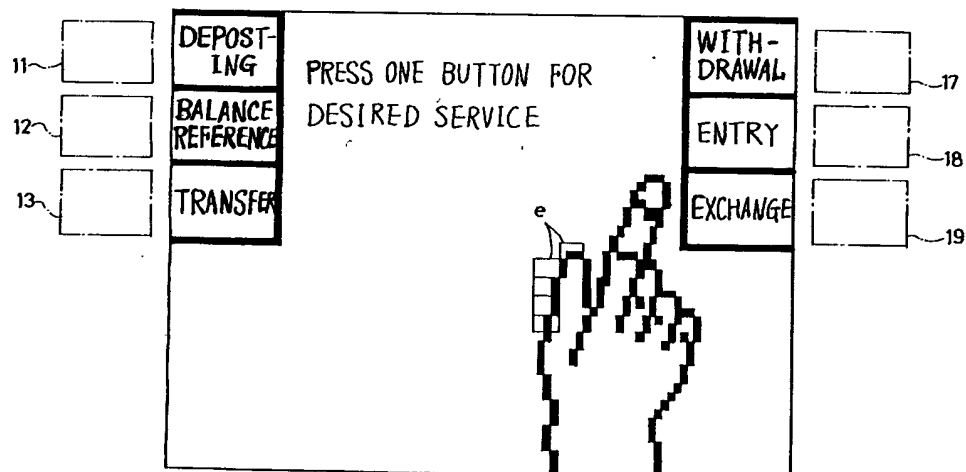
第13図



第14図



第10図



## 手 続 補 正 書

自 発 補 正

昭和 57 年 2 月 14 日

特許庁長官 島 田 春 樹 殿

1. 事 件 の 表 示 昭和 56 年特許願 第 181548 号

2. 発 明 の 名 称 取引処理装置

3. 補 正 を する 者

事件との関係 特許出願人

住 所 京都市右京区花園土堂町 10 番地

氏名・名称 (294) 立石電機株式会社

4. 代 理 人

住 所 大阪市南区鯉谷西之町57番地の6 イナビル6階

電話 大阪 (252) 2436・4387

氏 名 (6087) 弁護士 岸 本 瑛 之 助

外 4 名

5. 補正命令の日付 昭和 年 月 日

6. 補正により増加する発明の数

7. 補 正 の 対 象 明細書の発明の詳細な説明の欄。

8. 補 正 の 内 容

別紙の通り

金額の紙幣を計数して搬送し、機能ボタンからの確認信号にもとづいてその紙幣を払出口(8)に送出する紙幣放出機構、紙幣投入口(4)に挿入された紙幣の真偽と種類を判別するビル・チエツカ(2)、

同頁第 16 行の「伝票発行機構」を、「伝票発行機構」と訂正する。

以 上

(1) 明細書第 4 頁第 15 行および第 5 頁第 15 行の「紙幣」を、それぞれ「紙幣」と訂正する。

(2) 同書第 5 頁第 4 行から第 9 行の「さらに操作パネルには・・・返却される。」を、下記のよ

うに訂正する。  
「さらに操作パネルには、紙幣を挿入するための紙幣投入口(4)および紙幣を返却するための紙幣返却口(5)がある。紙幣返却口(5)からは、預金の取引において預金すべき紙幣を挿入後取引が終了する前に取引を取消した場合などに、挿入された紙幣が返却される。」

(3) 同書第 6 頁第 8 行から第 13 行の「現金支払および・・・ビル・チエツカ(2)、」を、下記のように訂正する。

「現金支払および現金両替の取引において所定

(1)